

腹腔鏡下総胆管結石手術

Laparoscopic common bile duct exploration : LCBDE

①腹腔鏡下経胆嚢管的切石術(経胆嚢管法, Laparoscopic transcystic common bile duct exploration : LTCCBDE)

胆管を無傷のまま切石できる理想的な手法(第一選択とすべき手技).
経胆嚢管的に結石を除去するため, 適応限界があり, 成功率は76.9~96%と報告されている.

適応: 結石の大きさが径8mm以内, 数が4個以内, 肝側に結石がない.

②腹腔鏡下胆管切開切石術(胆管切開法, Laparoscopic common bile duct exploration : LTCCBDE)

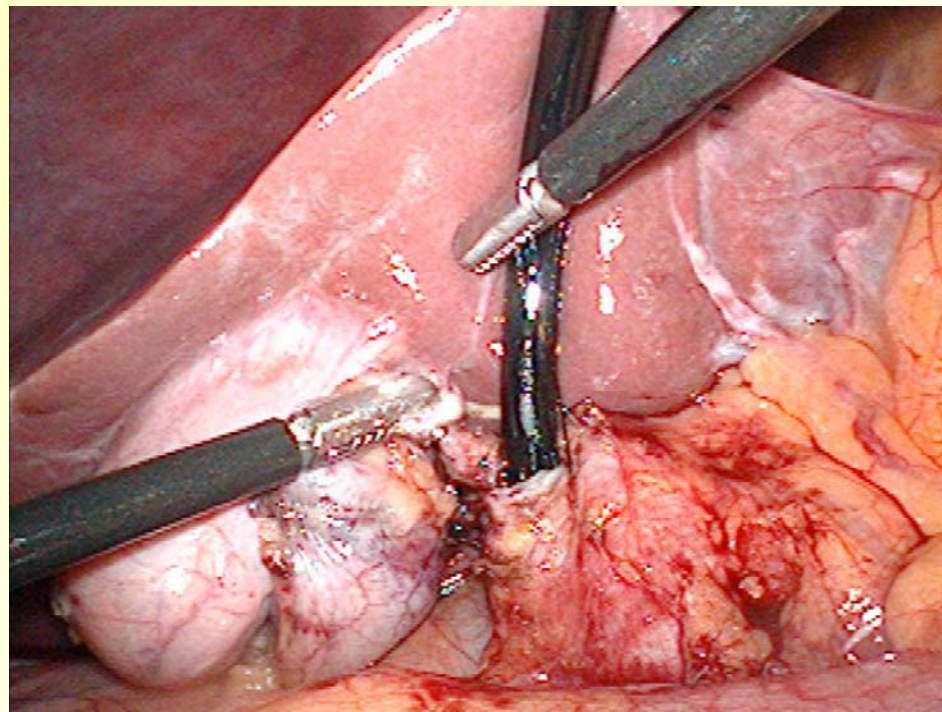
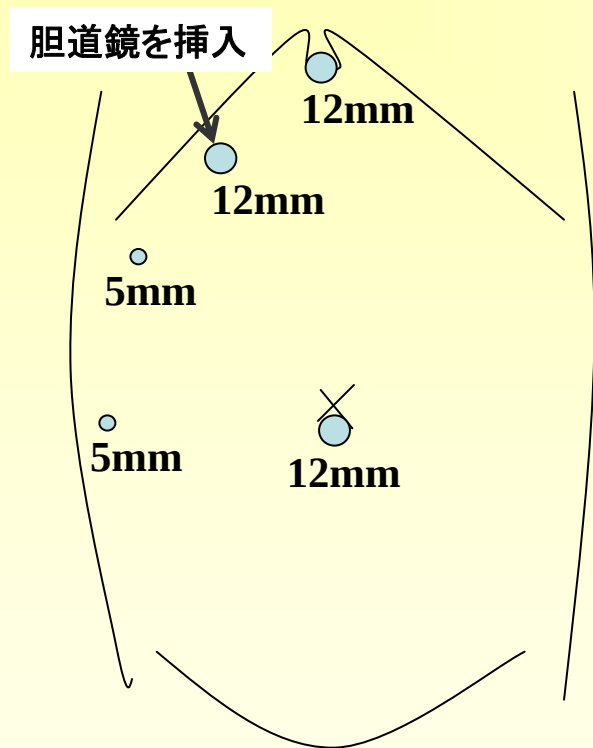
胆管切開し結石を除去する方法.

適応: 胆管結石が胆嚢管径よりも大きい例, 結石が多数存在, 胆管拡張例(10mm以上), また経胆嚢管法が不成功だった場合.

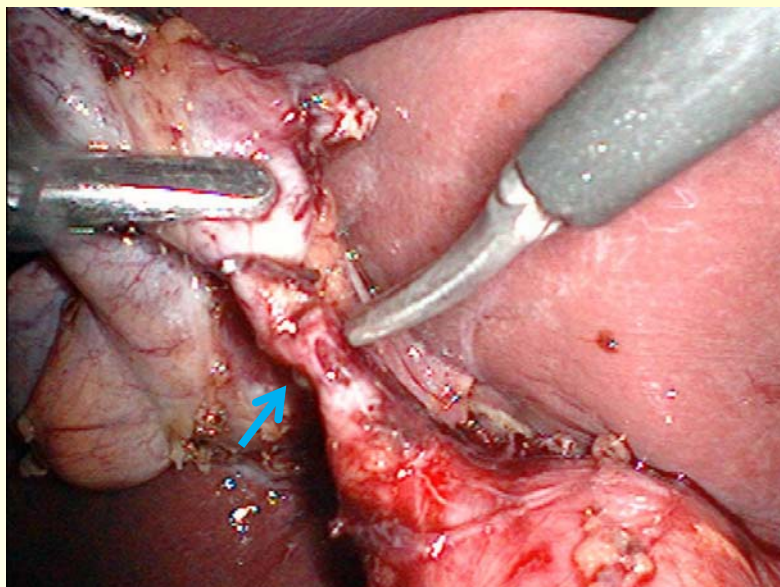
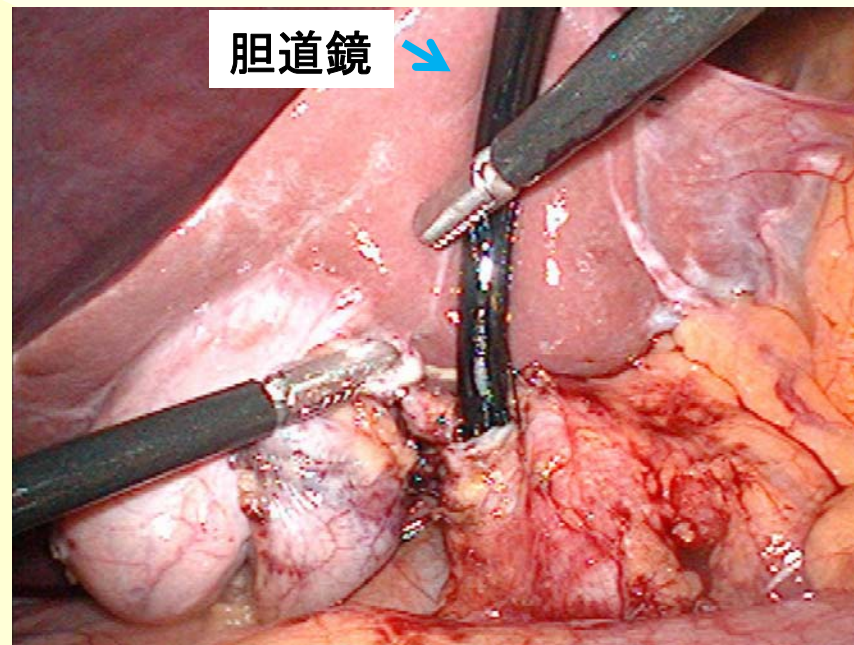
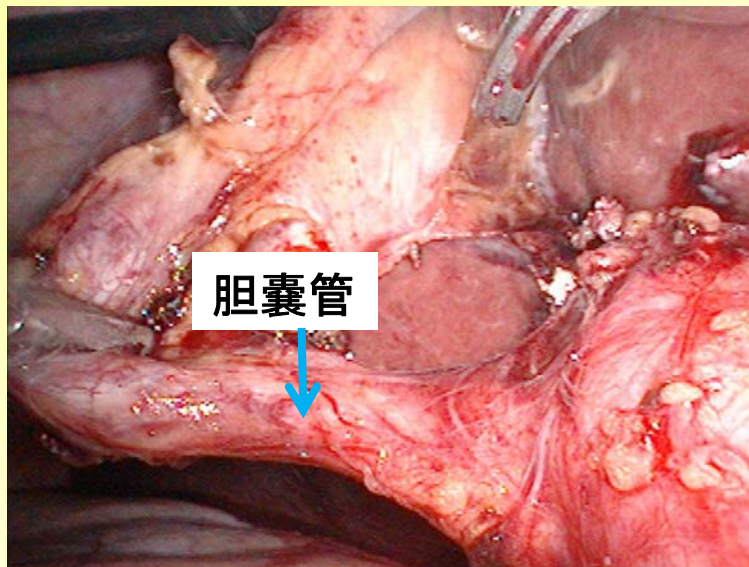
胆管切開後の処理が必要(TチューブやCチューブの留置等)

(①, ②法ともに一期的手術で, 乳頭機能が温存されます)

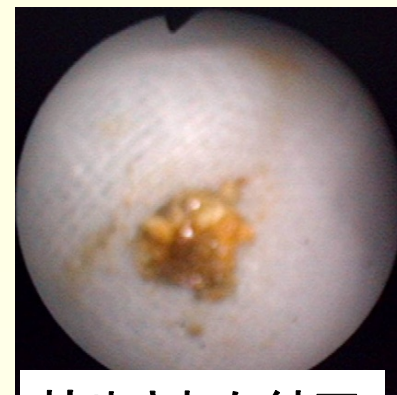
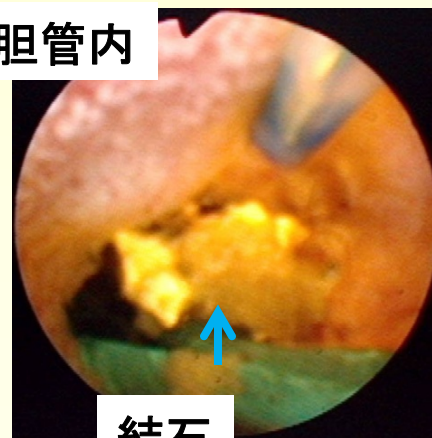
①腹腔鏡下經胆囊管的切石術



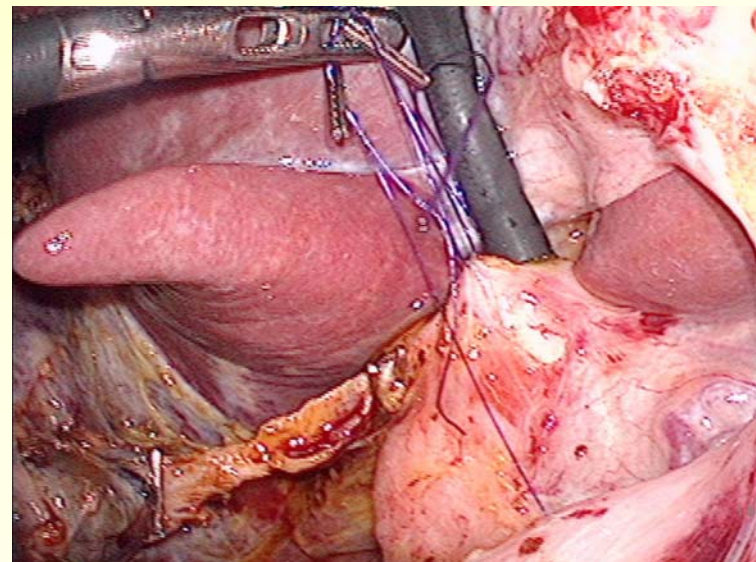
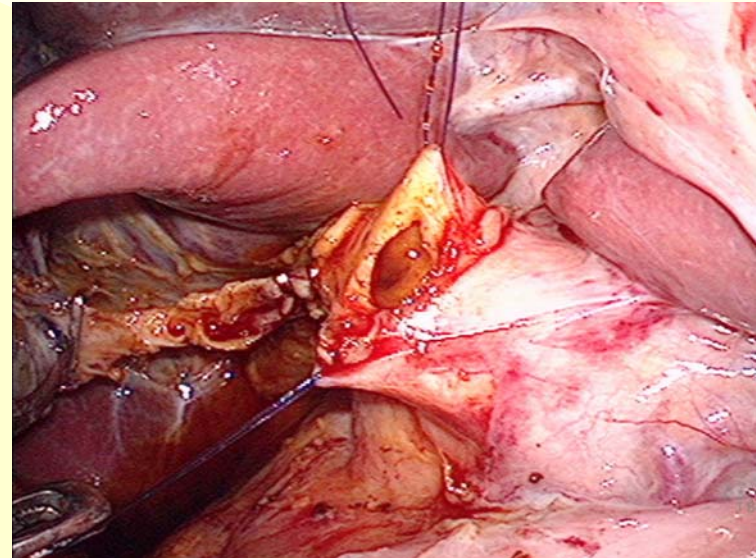
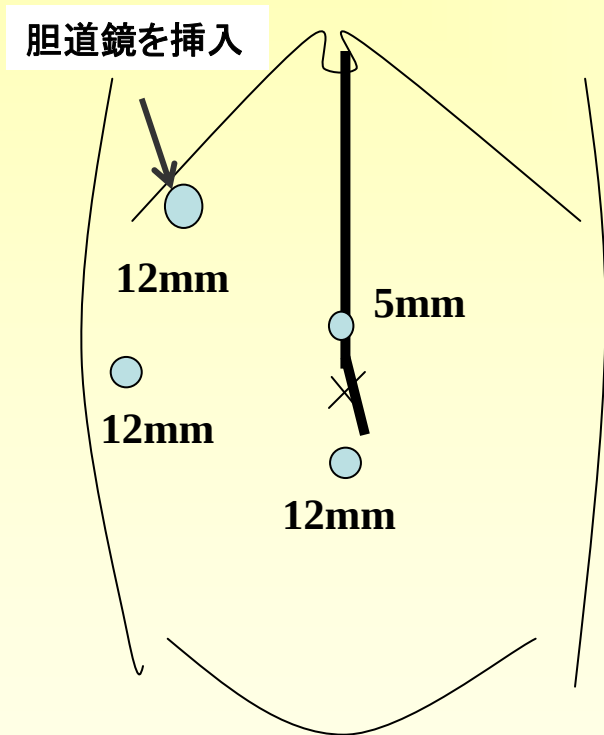
①腹腔鏡下經胆囊管的切石術



総胆管内

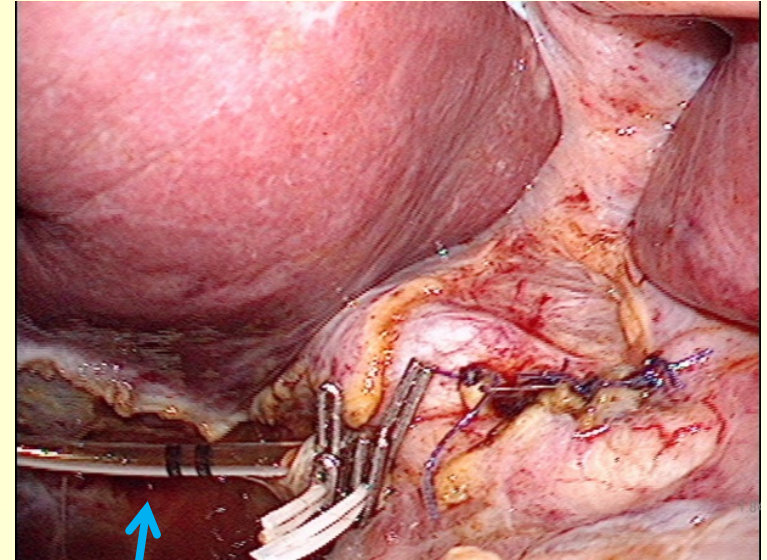
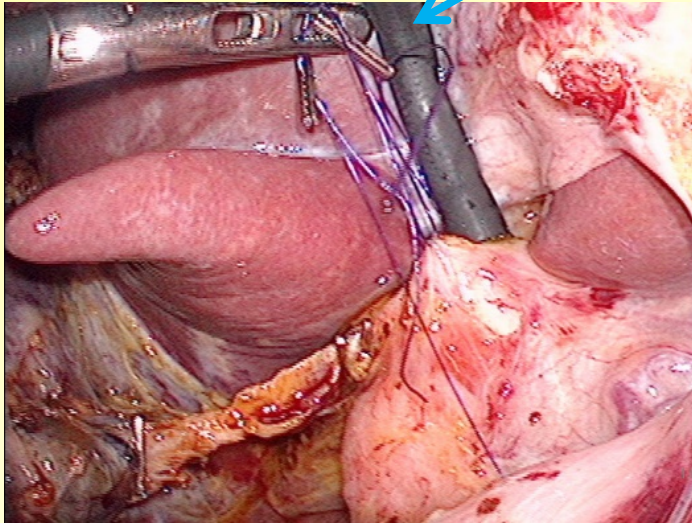


②腹腔鏡下胆管切開切石術



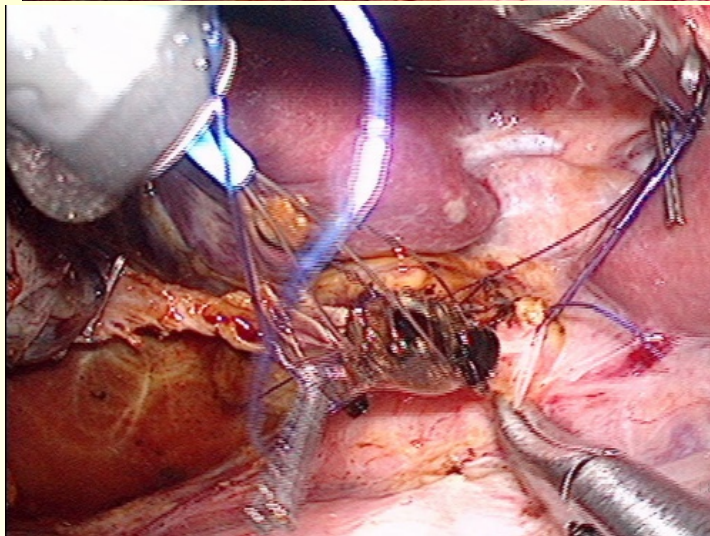
②腹腔鏡下胆管切開切石術

胆道鏡



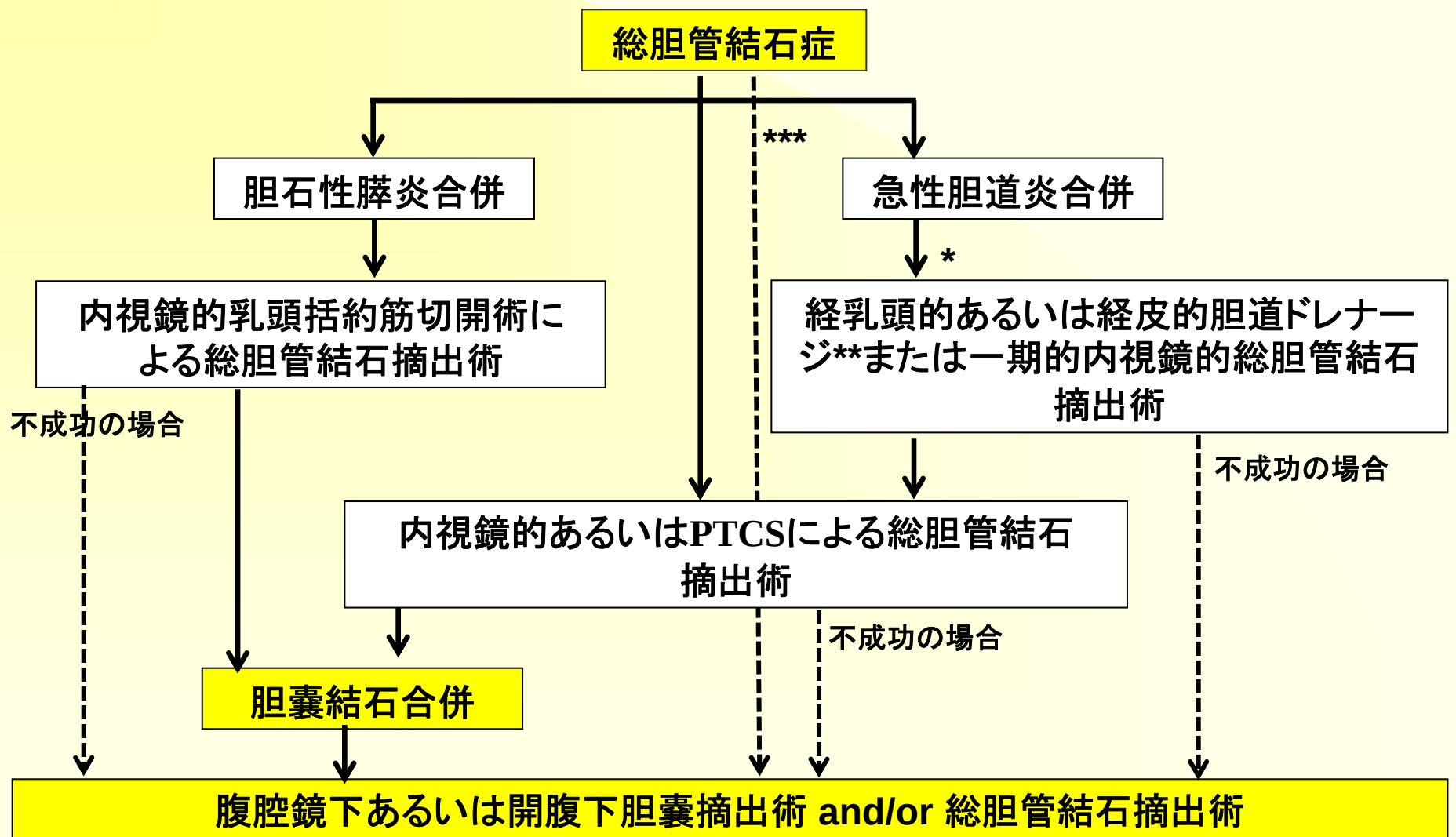
C-tube

総胆管内



胆管結石

胆石症における総胆管結石治療のフローチャート



*: 患者状態 (DIC など) あるいは施設によって以下を選択する。

** : 手技的に困難であれば経皮経肝胆嚢ドレナージを行う。

*** : 施設によっては直接外科治療を選択する。

胃切除後胆石症

胃切除術や胃全摘術の術後には胆石の発生率が高いとされ、その発生率は10数%から30%前後される。うち胆管結石を25%前後合併するとも報告されています。

消化管が再建されているため内視鏡下経乳頭的アプローチが困難場合が少なくありません。

そのほとんどが落下結石のため、高齢者や胆摘後の症例を除いて内視鏡下経乳頭的アプローチより、当科では一期的な腹腔鏡下胆管切石術を薦めています。